

議会だより

定例会

令和5年第3回定例会は9月13日に招集され、提出された案件を審議し閉会いたしました。

委員会報告

総務産業常任委員会

■ 調査期日 7月27日

■ 調査事項

農産物直売所みのりつつち北竜の運営状況について

■ 調査結果 継続審議

■ 調査期日 7月27日

■ 調査事項

ひまわりの里の開花状況及び運営状況について

■ 調査結果 展望台について、早急に具体的な検討をしていただきたい

■ 調査期日 7月27日

■ 調査事項

橋梁及び河川改修工事等の施工状況について

■ 調査結果 指摘事項なし

選挙

○選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について

10月31日任期満了に伴い、地方自治法の規定により選挙を行い、次の方が当選されました。

○選挙管理委員

高橋 康詞 氏(再)

石橋 裕司 氏(再)

渡邊 俊成 氏(再)

鶴飼 孝志 氏(再)

○同補充員

斎藤 克司 氏(再)

川上 英樹 氏(再)

四辻 光子 氏(再)

松田 力 氏(再)

同意

○教育委員会委員の任命について

垣原 智章 氏(新)

○公平委員会委員の選任について

渡邊 靖範 氏(再)

○固定資産評価審査委員会委員の選任について

高橋 孝行 氏(再)

原案可決

○北海道市町村職員退職手当組合規約の一部変更について

○深川市ほか4町介護認定審査会共同設置規約の一部変更について

○北空知障がい支援区分認定審査会共同設置規約の一部変更について

○令和5年度北竜町一般会計補正予算(第3号)について

○令和5年度北竜町立診療所事業特別会計補正予算(第2号)について

○令和5年度北竜町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について

○令和5年度北竜町介護保険特別会計補正予算(第1号)について

○令和5年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業会計補正予算(第2号)について

○令和5年度北竜町簡易水道事業会計補正予算(第2号)について

○令和5年度北竜町一般会計補正予算(第4号)について

認定

○令和4年度北竜町一般会計外6会計(国保・診療所・後期高齢・介護・特老・集落排水)の歳入歳出決算認定と令和4年度北竜町簡易水道事業会計決算認定について

決算審査特別委員会(中村尚一委員長)を設置し、その審査を付託、休会中に審査を行い認定されました。

意見書提出

次の意見書を可決し、関係省庁に送付いたしました。

○国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書



一般質問

9月13日に開会された第3回定例会では、5名の議員から6件の一般質問がありました。



尾崎議員

オーガニックビレッジの取り組みについて

尾崎議員

地域ぐるみの有機農業の推進を農水省が支援する「オーガニックビレッジ」がどんどん広がっている。「みどりの食料システム戦略」の一環で実施計画が認定されると交付金を受けられる。農業経営の安定・移住者の獲得・また各地で目指す有機給食実現にも繋がる。

「安心・安全な産物」を謳う北竜町が北空知で率先して取り組みを実践し、リードすることについてどう考えられるか、理事者に伺いたい。

佐野町長

現在化学肥料価格においても高騰していることから、有

機質肥料への転換が推進されているが、有機農業における生産者の負担や生産コストの割高、収量減少等の課題があり、また消費者には農用地の景観や生産に係る生活環境への影響や、虫食いや不揃い野菜を選択するか等、生産から消費までの循環を構築する必要があると考える。

現在町では、オーガニックビレッジ宣言については、集落等近隣者の理解、更にレベルアップしようとする農業者の意識・意欲、農業者団体のリーダーシップが前提となり、そこに行政の支援を組み合わせた取り組みが整う中で宣言がなされるべきと考える。

尾崎議員

ある時代から輸入された野菜の安さにつられるのではなく、生産者には価格を保証し、消費者には価値を理解してもらえよう努力をし、地場産「農業の基本に戻る」という方向



尾崎議員

中学校部活動の送迎について

尾崎議員

地域の公共交通対策に苦慮する中ではあるが、中学校5校（秩父別・沼田・妹背牛・雨竜・北竜）が合併した野球部・バレーボール部の部活動において、保護者の送迎負担が大きくなっている。

今後でも過疎少子化に悩む町で、子どもたちが学校教育の一環である部活動の保護者送迎負担を軽減するための対策をお願いしたい。

有馬教育長

現在卓球部を除く野球部・バレー部・吹奏楽部の部活動

を見ることも必要ではないか。

佐野町長

生産者に理解をいただき、農業振興協議会の専門委員と対策をし、有機給食についても深川市を含めた給食委員と協議させていただきたい。

が近隣校との合同編成を余儀なくされ、練習場所までの送迎は本町での練習日以外は保護者に協力をお願いしている。本件については本町のみならず北空知関係市町においても共通の課題と認識している。昨年度より北空知圏振興協議会教育部会において検討事項として協議を進めており、引き続き生徒たちが活動できる環境の整備を推進して参りたい。

井口教育課長

過疎少子化による活動制限のある公立中学校の部活動において、令和5年から7年ま

で、休日における対策推進期間としてガイドラインを設け、学校が担っていた業務を段階的に地域に移行する取り組みを進めている。

年度内に2回協議があり、地域の受け皿となる団体や指導者の確保など大きな共通課題となっている。部活動送迎に関しても大きな課題の一つであるため、協議の提案をしていく。

尾崎議員

送りは出来なくてもせめて迎えだけは週一でもスクールバスでできないか。または、専用車や運転手付きの送迎車を長期的に考え準備するだけの予算としては如何か。小学校のスポーツ少年団、各種試合や発表会に十分活躍出来ると思うのでお願いしたい。

有馬教育長

地域で部活の指導者はあるが、送迎に関して補助金はない。送迎が困難な場合はハイヤーの使用も考えられるが予算が必要なので、教職員や教育委員会職員等も出動することも含めながら考えていきたい。





木村議員

今後のひまわりの里等の整備計画について

木村議員

新展望台については、資材高騰等で建設を延期しているが、今後、いつ、どのような展望台の建設を考えているのか。ひまわりの里の整備計画と合わせて、周辺の観光資源を有効に活用出来るよう年次計画を立て、観光振興をする必要があると思う。

サンフラワーパークや各施設等との連携が出来るように、道路と周辺の環境整備が必要と考えるが理事者に伺いたい。

佐野町長

新展望台の建設については、先行きの見えない経済状況の中、また、資材高騰等により、どのように進めたら良いか検討中である。

展望台単独での建設を実施する場合には、補助事業等での効果項目のクリアが難しく、整備するには町の単独予算で

の執行が必要になるものと考えており、現在各団体等から、ベースが土盛りで、車椅子でも乗降出来るスロープの展望台や、飲食、物販施設と連携した展望台の提案等が有り、検討を進めている。

今後のひまわりの里の整備計画では、サンフラワーパークや各施設、設備との連携により、交流人口の拡大が図られ、有効活用が出来る様な道路の整備については、公共施設再配置計画等と共に検討していきたい。

木村議員

建設費の大幅な高騰もあるので、新展望台は高さ1/3程度、建設費は1/4程度とし、例えば1階は物品等の格納、2階を展望台にし、階段と併せて、車椅子で利用出来るスロープ付きの設計はいかがか。また、来年度に向けて予算

措置が出来るように12月定例会には方針を示して頂きたい。

佐野町長

町の財政状況等を考慮して、



佐藤議員

仮展望台の設置について

佐藤議員

ひまわりの里の展望台については当初の建設費用の高騰により、計画自体を見直し検討中との事であり、今後数年間は期間を要すると思うが、2年間設置された仮設展望台で使用された足場では不十分と思う。

今の仮設展望台と高さは同じ程度で広さは3倍程度の規模とし、幼児・高齢者、特に足の不自由な方、車椅子での観覧車に対応した緩やかなスロープを設置した仮設展望台を作るべきと思うが、提案している仮設展望台費用はどのくらいか伺う。

新展望台については白紙に戻し、内部で充分検討し12月定例会には方針を示したい。

佐野町長

仮展望台の設置について

佐野町長

ひまわりの里の展望台については、数年前より仮設での設置をさせていただいている。先行きの見えない経済状況の中、また、資機材の高騰等により、ひまわりの里基本計画にある新展望台建設については再検討する必要があると

判断した。従来検討してきた限研吾事務所等の設計の展望台については一旦白紙に戻して進めていきたい。

展望部分が今の3倍程度、

車いすで上り下りができる土台のスペースを、以前全員協議会の中でも話題に上った土盛タイプの仕様も含め検討すると、概算1,500万円程で整備できると思うが、これが良いのかも含め議論している。これから産業課・建設課と一体になって現場を見ながら検討をしていきたいと思っている。

何よりもひまわりの里に來園していただく皆様楽しんでいただき、満足のできるものを、スピード感を持って進めていきたい。



寺垣議員

北竜町人口ビジョンの取り組みについて

寺垣議員

平成27年10月に策定された

北竜町人口ビジョンに想定された人口減少のスピードはコ

口ナ禍もあり、当時の予想をはるかに上回る。今後の北竜町の人口減少対策について具体的な対策を理事者に伺う。

佐野町長

令和5年9月1日現在の北竜町の人口が1,655人であり、人口減少が2年ほど進んでいる状況にある。

一番の要因は、死亡数が予想を上回ったことが考えられ、町では、令和4年度より実施している地方創生推進事業「未来に咲き誇る北竜ひまわり商社（仮称）構築プロジェクト」において、

○ひまわりによる観光の強化による交流人口の増加

○農業及び観光を主軸とした雇用拡大の促進

○雇用安定化による婚姻促進と出産

○子育てへの支援

○定住生活環境の整備及び移住

○交流促進に向けた自由環境の整備

に取り組んでおり、地域資源の磨き上げやプロモーション活動による地域観光拠点や産直施設の収益向上を目指すこと

もに、人口流出で不足している労働力についても新しい働き方の仕組みを検討している。

また従前より実施している農業後継者対策、商工支援、子育て支援、定住促進事業は継続して実施しており、魅力あるまちづくりを推進していく。

寺垣議員

2040年を一つの起点とし、それに向けての具体的な方策として、基幹産業の米作り農業、観光があるが、どのくらい本腰を入れていくのか、議会・行政・住民の総意が求められ、対策が必要と思うかどうか。

佐野町長

（二社）つながる地域づくり研究所に協力頂き、今年のひまわりまつり期間中に学生を中心に、ウエル・カルや住宅に住み北竜の田舎の良さについてモニタリングして頂いた。

またメロン、スイカを含めた農作業の研修に入ってもらっている最中であり、それらを参考にし、より一層農業とひまわり観光を充実した町にしていきたいと考えている。



中村議員

佐野町長3期の実績と評価について

中村議員

佐野町長におかれましては、平成24年2月、当時現職の町長と選挙戦を勝ち抜いて就任されました。

以後2期を無投票により当選され、間もなく12年を経ようとしています。3期の実績、成果について伺います。

佐野町長

12年間、職員の協力と議員各位の理解により取り進めてきた。

ハード事業としては、農産物直売所みのりつつち北竜・商業活性化施設ココワ・保育所の建設等や改善センター、消防庁舎・北竜温泉の大改修を行った。

ソフト事業としては、全国で初めて運転免許証の自主返納対策、地方創生民間企業との連携によりひまわり油の再生を行った。ふるさと納税で

は8年連続3億円を超えている。子育て支援では保育料や学校給食費の無償化等を行い

また、光ファイバーの全町設置もされた。老朽化施設の再配置計画の策定を行った。次代につながる取り組みとして観光大使やふるさと応援大使の委嘱を行い、北竜のPRのために取り組んでいただいた。

北海道町村会の副会長、空知町村会の会長なども担っている。

なお、体調のこともあり、後援会とも相談し来年の町長選には出馬しないこととした。

中村議員

数多くの取り組みをされてきており、特筆されることも多々ありますが、ご勇退とのことでもあります。まだまだやれるとも思います。まだまだどなたかに後継指名をされるのか伺います。

佐野町長

後継指名ということは特段考えていない。次を担う候補者が立起してほしいし、複数の場合には公平に、一人の場合には全力で応援する。

中村議員

12月の定例会もあり、2月まで任期がありますのでよろしくお願ひします。

活動報告

【10月】

- 6日：岩見沢市開庁百四十年・市制施行八十周年記念式典
- 10日：深川市役所新庁舎開庁式
- 17日：総務産業常任委員会
- 20日：北空知監査委員研修会（監査委員）
- 21日：真竜小学校学習発表会
- 23日：福岡県東峰村視察
- 24日：例月出納検査（監査委員）
- 25日：空知町村議会議長会第2回総会
- 31日：11月2日：市町村議会議員特別セミナー（木村議員）



活動予定

【11月】

- 5日：札幌北竜祭
- 8～9日：監査委員・補助職員研修会（監査委員）
- 14日：北空知副議長研修会
- 21日：北海道議長会理事会
- 24日：第2回中・北空知廃棄物処理広域連合議会定例会、北空知議会議長連絡協議会総会
- 28～29日：第67回町村議会議長全国大会
- 未定：例月出納検査（監査委員）



議員コラム

小さな自治体は、今、大きな時代の中でのどこに着地点を見つけて出し、何をチャンスと捉えるのかという方向性を決めて行かなければなりません。町民の皆さんの声を一つ一つ丁寧にお聞きし、北竜イズムに満ちた政策を作らなければなりません。なんとなくやれば良いという意識では豊富にある北竜の可能性を活かすことは出来ません。

町長と議会は二元代表制であり、共に選挙で選ばれた機関です。政策提案権は町長にあります。議員にも自らの政策についての意見発言権があります。議員は多数数ですから、町民の皆さんの多くの意見を聴く数を有しています。どうか議員各位にご意見をいただけるようお願いいたします。

来年一月末に予定しています町長選挙に伴い議会議員の再選挙が行われます。北竜町の未来のために、議員としてまちづくりに取り組んでみませんか？自分なんて、ではなく、一歩前に踏み出して下さい。よろしくお願いいたします。（佐々木 康宏）

議員の賛否の公表（北竜町議会では予算議会における議員の賛否を公表することとしています）

令和5年第3回定例会（会期：9月13日～15日）

○：賛成 △：意見を付与して賛成 □：修正を求め賛成 ×：反対 -：議長の為賛否無し

| ▽議 案 件 名 | 寺垣 | 佐藤 | 木村 | 尾崎 | 松永 | 中村 | 佐々木 |
|---|------|------|------|------|------|------|-----|
| 選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 教育委員会委員の任命について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 公平委員会委員の選任について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 固定資産評価審査委員会委員の選任について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 北海道市町村職員退職手当組合理約の一部変更について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 深川市ほか4町介護認定審査会共同設置規約の一部変更について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 北空知障がい支援区分認定審査会共同設置規約の一部変更について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 令和5年度北竜町一般会計補正予算（第3号）について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 令和5年度北竜町立診療所事業特別会計補正予算（第2号）について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 令和5年度北竜町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 令和5年度北竜町介護保険特別会計補正予算（第1号）について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 令和5年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業会計補正予算（第2号）について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 令和5年度北竜町簡易水道事業会計補正予算（第2号）について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 本会議における質疑の件数 | 質疑0件 | 質疑0件 | 質疑0件 | 質疑0件 | 質疑0件 | 質疑1件 | - |

決算審査特別委員会 (9月13日～15日)

○：賛成 △：意見を付与して賛成 □：修正を求め賛成 ×：反対 -：委員長・監査委員の為賛否無し

| ▽委員会付託案件 | 寺垣 | 佐藤 | 木村 | 尾崎 | 松永 | 中村 | 佐々木 |
|--|----------|----|----------|----------|----------|----|----------|
| 令和4年度北竜町一般会計歳入歳出決算認定について | ○ | - | ○ | ○ | ○ | - | ○ |
| 令和4年度北竜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について | ○ | - | ○ | ○ | ○ | - | ○ |
| 令和4年度北竜町立診療所事業特別会計歳入歳出決算認定について | ○ | - | ○ | ○ | ○ | - | ○ |
| 令和4年度北竜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について | ○ | - | ○ | ○ | ○ | - | ○ |
| 令和4年度北竜町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について | ○ | - | ○ | ○ | ○ | - | ○ |
| 令和4年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計歳入歳出決算認定について | ○ | - | ○ | ○ | ○ | - | ○ |
| 令和4年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計歳入歳出決算認定について | ○ | - | ○ | ○ | ○ | - | ○ |
| 令和4年度北竜町簡易水道事業会計決算認定について | ○ | - | ○ | ○ | ○ | - | ○ |
| 決算委員会における質疑の件数 | 質疑 3件 | - | 質疑 2件 | 質疑 9件 | 質疑 2件 | - | 質疑 3件 |

決算審査特別委員会における議員質疑（意見付与・修正を求めた質疑）

| 質疑内容 | 答弁内容 |
|--|---|
| <p>■サンフラワーパーク北竜温泉レストランについて 令和3年度決算審査特別委員会では口頭、令和5年度予算審査特別委員会では文書により、レストランの調理人採用を始めとする経営改善について伝えていたが、一向に進展が見られない。 早急な対応と要望をするとともに、今後、総務産業常任委員会での調査事項として進めていく。</p> | <p>温泉のレストラン調理員については、関係企業等にも人材がいなか聞いていたが、見つからないため、色々話を聞きながら進めていきたい。 職員の意識改革も進めていくため、毎月の経営会議でしっかりと伝えたい。</p> |
| <p>■地域交通対策について 地域交通については、滝川北竜線が廃止となり対応を行っているところであるが、来年3月末には深川線も廃止となる。 今後の対応として協議されるとのことだが、北空知圏による検討のみならず、町独自の対策をお願いしたい。 特に中学生の部活動の参加についても、生徒の減少により広域での活動となっているなか、親の送迎が原則であると思うが、共働き家庭も多く送ることが難しくなっている現状を踏まえ、地域公共交通の活用により保護者負担の軽減に対応していただきたい。</p> | <p>中央バス高速留萌号の滝川～北竜～留萌間についてもR6.3末で廃止の予定である。滝川市を中心に地域公共交通に係る「特区」の計画もある。運転者不足の問題もあるため、何ができるかシステムを模索していく。</p> |
| <p>■しらかば並木公園について しらかばの成育状況が悪く、数回にわたり植替えをしている。専門業者にも相談しているようであるが、林業試験場に依頼することも必要なのではないか。 名称はしらかば並木公園ではあるが場合によっては、別な木を植えることを検討してみてはどうか。 また、町内において林業をしている方にアドバイザーとして協力をいただくことも有効であるのではないかと。</p> | <p>専門機関にも指導をいただきながら保全に努めたい。</p> |